

第3回農業大学校跡地周辺地域整備有識者会議 委員の意見概要及び事務局対応案

No.	委員	意見概要		事務局対応案	
		20210611時点「基本構想」案への意見	基本構想案該当箇所	「基本構想」案の修正等の内容	基本構想案該当箇所
1	永谷委員	9行目に「国においては、IoT、ロボット、AI等の先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ」とあり、13行目にも「また、国では『Society 5.0』により実現する社会として、ロボットや自動走行などの技術で人の可能性が広がる社会などを想定しており」とあり、内容が若干重複している印象を受ける。	1背景 P2 8～15行目	8行目～15行目の記載を、以下のとおり修正。 「なお、基本計画で目標とした「Society 5.0」の実現については、我が国を挙げて推進されている。国においては、IoT、ロボット、AI等の先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、格差なく、多様なニーズにきめ細やかに対応したモノやサービスを提供する「Society 5.0」を実現し、経済発展と社会的課題解決を両立させていくとしており、ロボット関連技術は、「Society 5.0」の鍵となる技術の一つに挙げられている。」	1背景 P2 8～13行目
2	永谷委員	「ロボット開発支援のためのフィールドや拠点施設整備の必要性」にて、「必要性」を主張する際、外国の例を入れるとより強い主張になるかと感じた。 災害対応のフィールドとしては、TexasのDisaster Cityが有名で、災害対応スタッフの訓練施設だが、災害対応ロボットの施設としても利用されている。 (参考となるURLとして <a href="https://spectrum.ieee.org/robotics/artificial-intelligence/robin-murphy-roboticist-to-the-rescue">https://spectrum.ieee.org/robotics/artificial-intelligence/robin-murphy-roboticist-to-the-rescue</a> など)	2(1)ロボット産業をめぐる状況③ P8	P8の脚注16に以下を追記。 「海外の事例として、災害対応スタッフの訓練施設である米国テキサス州カレッジステーション市の『Disaster City』は、災害対応ロボットの実証施設としても利用されており、災害対応ロボットの研究開発に不可欠なテストフィールドとして活用されている。」	2(1)ロボット産業をめぐる状況③ P8 脚注16
3	永谷委員	「その前段階で、」とあるが、前段階ではなく、技術開発を進めつつ実証試験が必要なので、「並行して」またはこの文言を削除するのが良い。	2(1)ロボット産業をめぐる状況③ P8 10行目	「その前段階で」の文言を削除。	2(1)ロボット産業をめぐる状況③ P8 10行目
4	永谷委員	「陸上移動ロボット」は、あまり使わない単語のような気がする。屋外で走行する移動体の呼称は「Unmanned Ground Vehicle(UGV)」や「無人移動体」など色々あるが、この文脈では、「ドローンや移動ロボットなどの実証実験」で問題ないと思う。	3(3)整備の方向性 P19 3行目 4(2)認証制度などの動向の把握と対応 P22 5行目 P23 2行目	「陸上移動ロボット」の記載を「移動ロボット」等に変更。	3(3)整備の方向性 P19 3行目 4(2)認証制度などの動向の把握と対応 P23 5行目 P24 2行目
5	永谷委員	「ロボットの性能測定などを行う試験環境を用意することを目指すこととしている。」とあるが、この文ではこれが主目的のように見えるため、「ロボットの性能測定などを行う試験環境も用意することを目指すこととしている。」として「これも目指している」とするのが良い。	4(2)認証制度などの動向の把握と対応 P22 3行目	「試験環境を用意すること」→「試験環境も用意すること」と文言を変更。	4(2)認証制度などの動向の把握と対応 P23 3行目
6	永谷委員	「全国から人が集まるような仕組みを検討する」について、「人」が曖昧な感じがする。「アウトリーチ活動」といった言葉を用いて、「技術を社会に発信する」という感じで記述すると良い。	4(4)その他 P25 8行目	「ロボット開発の機運の醸成を図るとともに、全国から人が集まるような仕組みを検討する」→「最先端の技術を社会に発信し、ロボット開発の機運の醸成を図るためにも、施設見学コースの設定や技術体験会の実施などのアウトリーチ活動の実践を検討する」と記載を変更。	4(4)その他 P26 8～10行目

No.	委員	意見概要		事務局対応案	
		20210611時点「基本構想」案への意見	基本構想案該当箇所	「基本構想」案の修正等の内容	基本構想案該当箇所
7	和佐田委員	参照資料の調査対象年は2018年。 【誤】世界市場における日系企業製品のシェア14(2019年度) 【正】世界市場における日系企業製品のシェア14(2018年)	2(1)ロボット産業をめぐる状況② P7 15行目	「(2019年度)」→「(2018年)」と記載を修正。	2(1)ロボット産業をめぐる状況② P7 15行目
8	和佐田委員	【誤】国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合研究所(NEDO) 【正】国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)	2(1)ロボット産業をめぐる状況③ P8 脚注16	「研究所」→「開発機構」と記載を修正。	2(1)ロボット産業をめぐる状況③ P8 脚注16
9	和佐田委員	【脚注の箇所についての修正案】※白書の記載内容と参照箇所を限定する修正提案 ・オープンイノベーションの場の提供 「オープンイノベーション白書」<19>によると、オープンイノベーションを創出する「エコシステム<20>」の構築・継続には、ビジネスの循環の中心となる拠点、そしてシステム内の関係者を媒介する拠点の存在が大きい」とある。	2(2)調査結果の分析等② P12 3～5行目	参照資料の記載内容と参照箇所が限定できるよう脚注の箇所と記載内容を修正。	2(2)調査結果の分析等② P12 3～5行目
10	矢内委員	「ステークホルダーで構成されるコンソーシアムを設立し、…」の部分について、ここでのコンソーシアム(以下コンソ)は運用等を含めてどのようなものにしていくのかを、検討する必要がある。 埼玉発のロボットを生み出すことを目指すというのは良いが、これは結果としてあって、そのためのメンバー集めも県内や首都圏に立地する企業への参加を求めるというのでは箱物的な運用になりかねない。 これまでのニーズ調査結果でのテーマを基にするのも良いが、具体的な実証テーマやオープンイノベーションの具体的なテーマ内容が出てきた時点で、この指とまれ方式で参加企業・機関を募る形の方が、より成果の実現性が出てくると思われる。 従って、イノベーションコンソには、様々なテーマでのアドホックのグループ組織を作る形で運営することでは如何か。	3(2)事業の特色① P17 3～7行目	基本計画の策定時に、御意見を参考とさせていただく。 ※「コンソーシアム」のあり方や運営については、関連する用語の「オープンイノベーション」について、現状の課題や目指すべき方向性等、多数の御意見があったことから、基本計画の策定時に、御意見を参考に実現方法の詳細について検討していくこととする。	—
11	大木委員	ロボットの例として「空飛ぶクルマ」が掲載されているが、空飛ぶクルマは航空法上の航空機に該当することから、ロボットのイメージとやや離れる気がする。本フィールドで扱う可能性のある事例の方が適切かと思う。 (あるいは、空飛ぶクルマの試験もスコープに入れる方針の場合は、そのための整備が必要になるかと思う。)	3(1)農大跡地周辺地域整備のコンセプト P15 12～17行目 図	「空飛ぶクルマ」の開発支援もスコープとして含めることを想定しており、原案どおりとさせていただきたい。 具体的な支援の可能性・あり方については、基本計画の策定時に、御意見を参考に詳細について検討していくこととする。	3(1)農大跡地周辺地域整備のコンセプト P15 12～17行目 図